

仲さんの講演後記

ゆいフェス 2025 に仲さんがご登壇され、「海外生活は気付きの宝庫～異文化×俳句～」と題してお話下さいました。以下、感想の一部をご紹介します。

- ① 駐在で過ごされた4カ国と、出張で訪れられた多くの国々での豊富な海外体験を踏まえた上での示唆に富む素晴らしい講座でした。異文化と異国の美しい光景が見えてくるような素敵な俳句をご紹介します、外国生活でのご家族への感謝と深い愛を感じる心温まるお話に心打たれました。
- ② 講師の仲栄司氏が、ドイツ、イタリア、フィリピン、シンガポールの現地勤務を通じて感じた異文化、多様性の実体験をユーモアを交え語られた。自分も海外駐在経験者として、多くの点で共感を覚えた。海外駐在においては、男性は仕事に埋没する日々が多く、日常生活、子育て、地域社会との交流を妻に任せてしまうケースが多い。現地で生活する苦勞に対する妻の覚悟と実践には、随分助けられたことは、最大の共感である。外国人は、日本という国、日本人に大きな関心があり、恥ずかしながら、いかに自分が日本の文化、歴史などに無知であったかを海外で痛感させられたことを思い出す。良くジョークで、日本人は、国際会議などの場で、「3つのS」で比喻された。S-Silent(発言しない)、Sleeping(内容が理解できず寝てしまう)、Smiling(意味の無い笑い)。日本の若い世代には、自ら率先して、外国人、外国文化に接して学び、人の意見に耳を傾け、自分の意見も発言することに挑戦して欲しいと思う。
- ③ 仲さんのゆいフェス「海外生活は気づきの宝庫」異文化×俳句のお話はテンポも良く大変興味の湧く内容で、いつまでも心に残るものでした。正に我々にも気づきを与えてくれたものと感謝します。仲さんの半世紀にわたる海外での実体験はドイツから始まってイタリアそしてアジアのフィリピン、シンガポールと続きますがそれぞれ異なる魅力のある文化に接しながらいわゆる国際人として成長してゆく姿があったのではないのでしょうか。私見ですが、その中でも特に仲さんに一番気づきを与えたのはイタリアで人生をエンジョイするという正に人間愛だったように思います。そしてライフワークとしての俳句を通じて森羅万象のすべてのものに感謝している姿勢と仕事も家庭も大事にしている姿がとても素晴らしいと感じました。この度ホームページを開設された由。これからは次世代に発信を続けていって下さい。
- ④ ゆいフェスでは楽しく豊かな時間をありがとうございました。秋にぴったりの教養高いご講演でした。俳句で伝える妙なる感性、季語がなくとも響く心の景。彼の地での人々とのご交流が目に見えようでした。皆さまのおかげで、心あたたまる会となりました。
- ⑤ 4か国のお国柄についてのご説明、納得でした。イタリア人の愛に溢れた日常、フィリピン人の生きているだけでいい…など、硬直気味の日本人には必要な知恵ですね。また、ところどころで奥様への愛情が感じられるフレーズに接して、海外でこそご夫婦の絆が何よりの支えであることを感じました。田伏さんのファシリテーターとしてのお役目も見事でした。田伏さんの優しい語り口がとっても心地良かったです。お二人の見事な連携で素晴らしいご講義となりました。